

検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、此の度弊社では、日本泌尿器科学会学術委員会承認の下に組織された「フリーテストステロン検討会」の研究報告に基づき「遊離テストステロン」ならびに「(総)テストステロン」の男性基準値等を別掲の通り改めることに致しましたので、取り急ぎご案内する次第です。

宜しくご了承の程お願い申し上げます。

敬具

記

検査内容変更項目

[3860] 遊離テストステロン

	新	旧
基準値		
保存条件	凍結	冷蔵
備考	午前中(9～12時)に採血して下さい。 性別、年齢を必ずご記入下さい。	

裏面をご参照願います。

[1050] テストステロン 血清

	新	旧
基準値		
備考	午前中(9～12時)に採血して下さい。 性別、年齢を必ずご記入下さい。	性別、年齢を必ずご記入下さい。

裏面をご参照願います。

実施期日

平成16年12月1日(水) 受付日分より



遊離テストステロン、(総)テストステロンの基準値等変更について

「フリーテストステロン検討会」の報告は、国内成人男性1,172例(20～77歳)を被験者とし、テストステロン分泌の日内リズムならびに採血後の血清検体の保存状態の影響も踏まえた上で基準値を設定しています。その結果、以下の諸点が確認されました。

遊離テストステロン値は加齢の影響を強く認めることから年齢階層別に基準値を設定するが、総テストステロンでは加齢の影響が弱く、年齢階層別の基準値を必要としない。

遊離テストステロン、総テストステロンはともに午前中に高値で比較的安定に推移した後、午後にかけて低下、深夜に最低値を示す日内リズムを有する。そのため、採血時間を一定にすることが肝要である。

今回の基準値設定に当っては、採血を高値で安定した結果を得られる午前中に実施している。

遊離テストステロン値は、血清分離後にこれを冷蔵(4℃)、室温(25℃)放置すると経時的に上昇する傾向を示し、速やかに凍結(-20℃)保存する必要がある。

総テストステロンに関しては、いずれの温度においても安定である。

遊離テストステロン 基準値 (pg/mL)

	男 性		女 性	
	新*	旧	新	旧
20～29歳	8.5～27.9	8.5～21.3	2.7以下	
30～39歳	7.6～23.1	6.0～18.8	1.9以下	
40～49歳	7.7～21.6	3.3～16.6	1.1以下	
50～59歳	6.9～18.4	6.0～13.9	1.0以下	
60～69歳	5.4～16.7	5.2～14.8	(未設定)	
70～79歳	4.5～13.8	(未設定)		
全年齢	(設定せず)**	5.1～19.0	(設定せず)**	2.3以下

テストステロン 基準値 (ng/mL)

	男 性		女 性
	新*	旧	
全年齢	2.01～7.50	2.70～10.7	0.06～0.86

* : 岩本晃明, 他: 日泌尿会誌 95: 751-760, 2004 より引用。

** : 加齢変動が明白なため、遊離テストステロンに対して全年齢を通じた基準値は設定しない。